

平成30年度入学式 式辞

春の香りが満ち溢れる今日の良き日、入学式を迎えた 二見中学校第73回生、242名の新入生の皆さん、入学おめでとう。そして、保護者、ご家族の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。

また、ご多忙の中、このめでたき日に、本校第71回入学式に、ご臨席を賜りました多くのご来賓の皆様、誠にありがとうございます。高いところからではございますが、心より深く御礼申し上げます。

さて、少し緊張した面持ちで 席に着いている新入生の皆さん、今の気持ちはどんなものでしょうか。「よし、頑張るぞ!」という人。「勉強や部活動、がんばれるかなあ」という人、「友達できるかなあ」と思っている人・・・などなど・・・。おそらく、「頑張ろう」という気持ちと「がんばれるかなあ・・・」という不安な気持ちが入り交じっているのではないのでしょうか。大丈夫です。周りに座っている人たちも、みんな同じ様な気持ちでしょうし、先輩たちも、みんな経験してきたことですから、大丈夫です。

皆さんは、つい先日まで、それぞれの小学校の最高学年として、学校のリーダーの役割を立派に果たしてきたことと思います。その自信と誇りを忘れず、中学校でも頑張っていきましょう。先生方や先輩たちの指導やアドバイスのもと、仲間と力を合わせて、伝統ある我が二見中学校をさらに前進させてくれる事を、校長として、大いに期待しています。

まずはここで、本校の教育目標を紹介します。教育目標というのは、校長である私が、先生方や保護者の皆さん、そして地域の皆さんと共に、「あなた方をこんな人に育てて行くぞ」という目標であり決意です。よく聞いてその意味を考えて下さい。

本校の教育目標は、『**失敗をおそれず 挑戦を続ける人を 育てる**』です。もう一度言います。『**失敗をおそれず 挑戦を続ける人を 育てる**』

今、皆さんは、これから頑張って、挑戦しようと思っていることがありますか？

あると言う人は手を上げて下さい。 よろしい。 まだ、今ははっきりとは、言えないなあ・・・。という人も、とりあえずは、失敗をおそれず、勉強や部活動などに挑戦して下さい。

実は今の日本の若者で「勇気を持って、新しいことに挑戦しよう」と考える人が、他のどの国より極端に少ないというのです。そして、その原因は、「日本人は、失敗することを必要以上に、おそれているから」だそうです。

実に長い年月、日本では戦争も無く、平和で、豊かで、安定した状態が続いてきました。だから、失敗するかも知れない危険を冒してまで、新しいことに挑戦する必要が無く、無理しなくても何とか生きていく・・・とみんなが考えているということなのかも知れません。

ところが、実は今、世界規模で大きく世の中が変わろうとしています。例えば・・・、自動運転で車が走る。将棋の名人がコンピュータに負ける。買い物はインターネットです。ピザの宅配はドローンが運んでくる。工場では人間に変わってロボットが働いている・・・皆さんが生きていく時代はどんな時代になっていくのでしょうかねえ。将来こんな仕事に就きたいと思っても、皆さんが30歳40歳になるころ、その仕事は、この世の中から消えている可能性が高いのです。

そんな時代に、皆さんに求められるのは、自分の頭で時代の先を読み、新しい仕事を生み出す力を持つことなのです。そして、それは「失敗をおそれずに新しいことに挑戦していく勇気と力」なのです。

だから、私は、本校の教育目標を、「失敗をおそれず 挑戦を続ける人を育てる」と、しました。いつでも、どんな状況でも、この目標を頭の隅に置いて、たくましく頑張っていきましょう。

次に、お話ししておきたいことがあります。この体育館にも掲げてありますし、西門を入るときにも ひときわ目を引く横断幕がありますね。『I ♥ FUTAMI宣言』と書かれています。皆さんはこの言葉を見て ど

う思いますか……。これは、二見中学生全員、そして先生達を含めたPTAの皆さんや地域の皆さん全員の合い言葉です。「私は二見中が、そして二見という町が、二見の人たちが大好きです」という合い言葉です。二見はとっても暖かい 愛があふれる町です。皆さんはこれまで、保育所や幼稚園、小学校と、この二見の町の あふれる愛に包まれて大きくなってきました。そしてこれからもそれはかわりません。後で紹介がありますが、本日、皆さんの中学校入学を一目見て、祝ってあげようという愛にあふれた、ご来賓のみなさまが、その代表の皆様です。皆さんも是非、地域を愛し、地域の皆さんを愛する人になって下さい。これは絶対に忘れないで下さい。

もう一つ。皆さんは、「人権」という言葉を聞いたときに、どういうことが頭に浮かぶでしょうか。「基本的人権」ということについて小学校で勉強しましたか。

たくさんある日本の法律の中で、最も重要な法律である「日本国憲法」やそれに基づく「教育基本法」などにも、「基本的人権」について、いろいろと書かれています。中学生の皆さんに一番関係の深い事柄を挙げて、わかりやすく言うと、「日本国民は、その能力に応じて、等しく教育を受ける権利がある」ということが挙げられます。つまり、皆さん全員が安心して学校へ通い、勉強して賢くなる権利を持っているということです。しかしながら、現実の日本の学校では「いじめ」によって安心して学校生活を送れない状況に追い込まれたり、「いじめ」に耐えられず「自殺」に追い込まれるという、痛ましい状況が続いていたり……。と、残念な状況もありますよね。これらは、絶対に許されない人権侵害なのです。つまり「いじめ」は絶対に許されない犯罪なのです。だから、人をいじめると、いじめた人も、その保護者も場合によっては法によって罰せられ、社会的な制裁を加えられるでしょう。

では、どうすれば「いじめ」をなくすことができるのでしょうか。それは、皆さんの一人一人が「人の気持ちを考えて行動する」「自分がされたり、言われたりしたらいやだと思うことを絶対にしない」ということを肝に銘じておく他にはないのです。見て見ぬふりをするのも、いじ

めていることになりますから心に留めておいてください。

さあ、今日は皆さんの長い人生において、大きな節目の日です。もし、昨日までの自分に反省すべき事があれば反省し、改めて、「やる気スイッチ」をパチンと入れて、新しい自分をスタートさせましょう。

最後になりましたが、保護者の皆様、これからの3年間は、子育ての中で最も大変で大切な日々となります。子どもたちは、子どもから大人へと大きく成長を遂げます。長い人生の中でも最も劇的な変化を遂げる3年間です。心と体の成長のアンバランスから精神的に不安定になったり、純粹であるが故に親や大人に反抗したり……。でもそれは皆さんも通って来た成長のための道です。子どもと共に学び、共に喜び、共に泣き、共に悩むのが親のつとめです。

一方で、最近急激に増えているスマホなどによるトラブルなどを考えてみても、子供を「大切にすること」と「甘やかす」こととはまったく違うことだということを忘れず、中学生として良い行いは大いにほめ、反対に「ダメなことはダメだ!」と言い切る勇気を持ちながら、私たち教職員と手を携え、頑張っていきましょう。

地域の皆様には、二見中学校、そしてここに座っている新入生たちが、地域の宝となれますよう、引き続き、愛あふれる、暖かいご支援をいただきますことをお願いいたしまして、私の「式辞」と致します。

平成30年4月10日

明石市立二見中学校 校長 木村 孝

